

免疫ビタミン・LPS の効果

LPS は“リポポリサッカライド”の略で、免疫ビタミンと言われ、生物が生きていくには必須の成分ということが最新の研究で解りました。

LPS は、パントエア菌という菌で、元来、お米、果物（りんご、トマト）・じゃがいも・さつまいも・昆布、メカブなど食物にはなんでもくっついていて、空気中にもあるものです。その LPS が最近の研究でわかってきたのは不足すると**癌やアトピー・アレルギー、肌の荒れ**までなど、色々な病気になる事が分かってきたのです。

人間には、頭の前からつま先までマクロファージの細胞は体のどこにでもいて、その細胞がきちんと働かないと病気になりやすくなります。でも、マクロファージは元気になりすぎると体の中で早く死んでしまうのが欠点です。

どういう状態が一番いいかというと・・・

ボクシングでいうと構えている状態、

野球のバッターでいうといつでも打てる状態（この状態をプライミングといいます）プライミング状態にしておくとも病原体やウイルスなどの異物が体に入ってきたときに体の準備ができている為、すぐに戦ってやっつけてくれます。

ノーベル生理学賞で解明されているメカニズムで、人間の細胞をプライミング状態にできるのが LPS なのです。

国立大学法人香川大学医学部（柚先生グループ）は長年の研究で、LPS を色んな食物、果物から効率的にとってきて口から飲んだり、皮膚に塗ったりしても 100%安全な成分にする事に成功しました。

乳酸菌やキノコなど体の細胞を元気にさせる成分は他にも色々ありますが、その成分よりもはるかに少ない量で体の細胞を元気に出来る事を解明しています。

わかりやすく例えると、細胞を元気にさせる経路は、人間の肩もみでたとえられます。

右肩は、キノコや乳酸菌が押す。左肩はDNAが押す。けども一向に肩こりがよくなりません。そこで、くびの付け根のツボをLPSが押すのですが、そうすると肩こりが治って元気になるというメカニズムです。

両肩のツボをマッサージできる成分はたくさんあるのですが、首の付け根の根幹ツボを押せるのはLPSしかないのです。

一番良い、人間の細胞のマッサージ方法なのです。